

会 議 録

会 議 名	第 2 9 期小金井市公民館運営審議会第 1 2 回審議会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	平成 2 0 年 1 0 月 2 4 日 (金) 午後 3 時 0 5 分から午後 4 時 5 5 分		
開 催 場 所	公民館本館 学習室 A ・ B		
出 席 委 員	大橋委員長 田頭副委員長 内古閑委員 熊谷委員 竹内委員 長田委員 君塚委員		
欠 席 委 員	木村委員 佐野委員 道城委員		
事 務 局 員	中嶋館長 山崎庶務係長 松本事業係長 鈴木主査 渡辺主査 若藤主査 葛城主査 渡辺 (陽) 社会教育主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 第 2 0 期小金井市公民館企画実行委員について</p> <p>(2) 市制施行 5 0 周年記念事業について</p> <p>(3) 秩父市吉田公民館の視察について</p> <p>(4) 各館事業の報告について</p> <p>(5) その他</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 次回日程について</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 第 2 回東京都公民館連絡協議会委員部会研修会について</p> <p>(2) その他</p> <p>3 審議事項</p> <p>(1) 各館事業の計画について</p> <p>(2) 平成 2 1 年度公民館の施策について</p> <p>(3) その他</p> <p>4 配付資料</p> <p>(1) 各館事業の報告</p> <p>(2) 各館事業の計画</p> <p>(3) 第 2 0 期小金井市公民館企画実行委員名簿</p> <p>(4) 都公連情報誌トリターマ Vol. 2</p> <p>(5) 第 1 1 回公民館運営審議会会議録</p>		

会 議 結 果

大橋委員長　　それでは、第12回公民館運営審議会を開催いたします。公民館長から連絡事項をお願いいたします。

中嶋館長　　それでは、第11回審議会会議録については、皆さんのお手元にあるかと思えます。既に皆さんに確認をしていただき、清打ちしたものです。ご承認していただければと思います。よろしくをお願いします。

委員一同　　承認します。

中嶋館長　　ありがとうございます。

大橋委員長　　次に事務局からの報告をお願いします。

1 報告事項

(1) 第20期小金井市公民館企画実行委員について

中嶋館長　　第20期小金井市公民館企画実行委員の追加候補者について報告いたします。第10回教育委員会定例会にて、追加候補者の選任に関し同意を得ましたので、お手元に第20期小金井市公民館企画実行委員名簿をご送付いたしました。委員の概要については、追加委員二人の性別は男性一人、女性一人。公民館全体の委員についてご説明いたしますと、委員30人の性別については、男性14人で47%、女性16人で53%。候補者につきまして、概要をご説明いたしますと、平均年齢は65歳、男性平均、女性平均共に63歳、最高年齢は男性の79歳、最低年齢は女性の40歳になります。新任、再任別では、新任8人で27%、再任は22人で73%です。公募による立候補者は28人で93%、団体推薦は二人で7%です。以上本館企画実行委員6人、公民館全体で30人となりました。

大橋委員長　　今の報告に関してご質問がありますでしょうか。無いようですので、次をお願いいたします。

(2) 市制施行50周年記念事業について

中嶋館長　　市制施行50周年記念事業についてです。市制施行50周年記念式典は10月5日に開催されました。公民館での冠事業として、私たちの提案「食を通した街の活性化」と題しまして、11月16日（日）午後3時から5時、公民館本館視聴覚室及び終了後に交流会を家事実習室にて実施いたします。市内近隣の高校と大学、専門学校等への職員の働きかけにより集まった15歳から25歳までの若者10人のスタッフに計画から発表を託しました。9回のスタッフミーティングを経まして、彼らによるプレゼンテーションを実施する形となりました。内容は小金井の地場野菜とラーメンとのコラボレーションが実現できるのかをテーマに「ラーメンは小金井を救えるか」。ファシリテーターとしては、食育、野菜コーディネータの酒井文子さんとNPO法人ミュゼダグリ代表の土井利彦さんを予定しております。何かここから始まることを期待しております。お忙しいとは思いますが、若者のご提案をお聞きください。ご質問等は担当者をお願いいたします。

君塚委員　　「ラーメンは小金井を救えるか」というのは具体的にどのような企画な

松本事業係長 のでしょうか。よくラーメンを食べに行きますので、興味深いのですが。スタッフの意向がラーメンの中に江戸野菜を入れることができるか。それを元に小金井を活性化できるか。今現在、ラーメン店を回ってアンケートをとっているところです。

君塚委員 例えば、食育との関連で、市内の学校の先生が関わっているようなことはないのですか。

松本事業係長 今のところは出ていないです。

君塚委員 大変興味深いですね。

大橋委員長 高校生と大学生が10人ということだったのですが、内訳をお願いします。

松本事業係長 高校生は3人、大学生が7人です。

大橋委員長 大学は市内の大学ですか。

松本事業係長 高校生は中大付属の生徒さん、大学生は、農工大学、亜細亜大学、一橋大学、日本大学というようなスタッフメンバーになっています。

君塚委員 学芸大学の学生はいないのですか。ちらしを相当配ったのですが。

松本事業係長 最初いらしていたのですが、教員免許の資格取得のためのお勉強がお忙しいようです。

君塚委員 すみません。

大橋委員長 期待していたのですが。食育との関連もありますし、ラーメン街道も近いですね。

田頭副委員長 江戸野菜の一品コンテストには、貫井南分館の江戸野菜のグループの方も関わっているのですか。

渡辺主査 話はしているのですが、講座の中では参加するような話にはなっておりません。講師の土井さんは、貫井の江戸野菜の講座当初から関わってくださった方ですが。

田頭副委員長 ファシリテーターという形で関わってくださっているのですね。

大橋委員長 残念ながらこの日はいろいろな事業と重なっているのです。委員部会の研修会もそうですし、私も是非伺いたかったのですが、講師として話をしなければならぬ講座が入っているものですから。

熊谷委員 江戸野菜というのは具体的にはどういう野菜があるのでしょうか。

渡辺主査 江戸時代から現在に至るまでの間にかなり品種改良されていますので、必ずしも江戸時代当時のままではないと思います。亀戸大根とかウドなど、昔からあるものがありますので、それを使うということで貫井南分館ではすすめています。原種といわれると正確ではないのですが。

熊谷委員 ラーメンの食材の中で、江戸野菜がはたして使えるのかなと思ったのですが。

渡辺主査 立川のラーメン屋さんでウドを使っているところもあるのです。ですから、必ずしもできないわけじゃないと思います。江戸野菜として小金井ではどういう野菜を使うかを検討することによって小金井の農家の方たちが目覚めてくださって、野菜作りに活気が出て、小金井のラーメン屋さんとのコラボレーションが実現できればということを目指しているのだと思います。

熊谷委員 分かりました。

中嶋館長 伊丹十三監督の映画「たんぼぼ」がラーメン文化のはしりになったようですが、日本人にとってラーメンはとても意味の深いもののようです。地場野菜とのコラボレーションがどのようになるか分かりませんが、若者達の声がそれをきっかけに出てくれば良いものになるのではと思っています。

大橋委員 若い人がたくさん参加してくださることを期待しています。学芸大学の人たちにも是非参加していただきたいです。

君塚委員 この間、渡辺社会教育主事からチラシをいただいて、かなり配りました。ラーメンは食べに行っているようですが。このような機会にも是非参加してほしいと思います。農家と大学のコラボレーションというのは農工大学をさすのですか。

松本事業係長 そうですね。農工大学の農学部です。野菜を効率的に作る研究をされている先生がいらっしゃるのですが、その農工大学の先生が中心となって周囲の住民を巻き込んでいる、そういった活動、農家とコラボレーションという試みもプレゼンテーションする予定です。

君塚委員 農工大学の先生が小金井の農家とコラボレートするのですか。

松本事業係長 小金井の農家ではなく、府中になるのですが。

君塚委員 分かりました。面白いですね。「食を通しての小金井の活性化」というテーマ。

田頭副委員長 熊谷さん、小金井市のラーメン屋さんは商工会に所属されているのですか。

熊谷委員 3年になりますか、そのくらい前からひとつの商店街として加盟しました。商工会としても、あの通りをなんとかメインに使えないかと思っています。

田頭副委員長 商工会としても何かこちらに働きかけを、お知らせをしていくことでバックアップができると、産学協働の新しい可能性が広がるのではないかと思います。素敵な企画だと思います。楽しみにしています。ありがとうございました。

大橋委員長 この件に関して他に何かご質問、ご意見がありますか。無ければ三番目の秩父市吉田公民館の視察についてお願いします。

(3) 秩父市吉田公民館の視察について

中嶋館長 秩父市は、平成17年4月に秩父市、吉田町等4市町村の合併により誕生しました。埼玉県の約6分の1の面積約572km²を有し、人口は72,093人。非常に自然環境に恵まれた秩父市下吉田から公民館本館に10月18日(土)午後1時～3時、視察研修がありました。優良公民館になった小金井の都市型公民館を視察して、公民館事業の活性化につなげたいとのことで、企画実行委員制度、公民館運営、施設見学について調査、研究に来られました。10月11日(土)NHKテレビ「すてき旅」に小金井市が取り上げられ、小金井市の名前の由来は黄金の水からきていることと江戸東京野菜について放映がありましたと館長から言われました。私は

午前中、ハローフレンズ教室に従事しておりましたので、午前中は江戸東京たてもの園等を見学して、当日開催されていた市民まつりの状況も見ていただいて、午後から公民館に視察となりました。当初、地区館委員10人と職員2人の予定でしたが、吉田公民館の石嶋館長、職員の新井主査と地区館委員2人の計4人になりました。公民館長が説明をし、質疑応答、意見交換等の対応をいたしました。内容的には以上です。

大橋委員長
君塚委員

何かご質問等ありますか。

吉田公民館の方達は、小金井に視察されてどのような質問をなさったのでしょうか。

中嶋館長

今まで合併をする前、非常にローカルでして、現在も秩父市からすると奥まった位置にある公民館の方達で、都市型公民館への関心があり、特に都市型公民館の問題点は何かということでした。現在は、交通手段、通信革命も進んでおり、都市型の内容についても、非常に複雑な様相を呈しているということに対する漠たる関心の高さを特に感じました。そこで、社会教育の公民館はどういうものなのかということでした。公民館長については、定年退職をされた方が非常勤嘱託職員という位置づけで勤務されておりました。その前は行政に奉職され、教育委員会のご経験もある方でした。

君塚委員
中嶋館長
君塚委員
中嶋館長

吉田公民館の職員数は何名くらいなのでしょう。

そこについては具体的にはお聞きしませんでした。

そんなに大きくはないのですね。

そうです。図書館と併設されていまして、インターネットで調べますと、公民館は立派な建物でした。こちらから質問をする暇も与えられない状況で質問が向こうからありまして。私の方から1時間説明をしまして、その後の1時間で私が皆さんから質問を受けまして3時で終了という時間配分でしたので。

大橋委員長
中嶋館長

他に質問ありますか。それでは、各館事業の報告をお願いします。

それでは各館から事業の報告をいたします。

(4) 各館事業の報告について

渡辺社会教育主事 本館から成人大学の報告をいたします。「池波正太郎と時代小説の検証」。前期と後期を分けまして、前期は「時代小説、歴史学からの検証」ということで大石学先生に、後期は「池波文学の魅力」ということで、山田有策先生にお願いしました。お二人とも非常に人気のある先生で、多数参加が見込まれ、予想どおり応募が二百人を超えたのですが、学芸大学に一番大きな教室を用意していただきましたので、全員受講できるということになりました。内容的には、皆さんからの感想の中で一番めだったのは、「江戸時代のイメージがいろいろな意味で豊かになりました。特に江戸時代の教育力の高さ。」ということですか、また、もう一つは「歴史の非常に大きな切り口といいますか、見方が変わった。江戸時代というのが古い時代というイメージだったのが、現代につながる基礎が出来る時代として見直すことができました。」そういった受講者の感想がありました。それから次に、市民講座ですが、「新しい公民館活動を考える～あなたが作

るあなたの公民館」ということで、本当に皆さんにご協力いただきまして、9月8日に終了いたしました。公民館運営審議会委員の大橋委員長、君塚委員をはじめ、企画実行委員の方達にはほとんど全員参加という形で協力していただきました。前期は社会教育の問題になっているところを事例から学び、後期は皆さんのプレゼンテーション、そして最後にまとめという流れでした。普段余り時間がなくて聞くこともできなかつたそれぞれの皆さんの考えていることや夢などをお聞きすることもできて、非常に有意義だったという感想もいただきました。本来なら今日、報告集をお渡ししたかったのですが、申し訳ございません。少し遅れていまして、現在版下が終わって、来週には出来あがるかと思えます。なかなか忙しくて全回出席という方も少なかったのですが、欠席されたところをお読みいただいて参考にしていただけたらと思っております。

大橋委員長 報告2件ですね。ご質問がありますか。

竹内委員 成人大学講座は非常に人気があり、テーマが良かったこともあるかと思いますが、のべ参加者を日数で割ると180人くらいですか。参加者の中身、男女の比率、年齢構成はどうだったのでしょうか。

渡辺社会教育主事 今回は、年齢については調べなかったのです。抵抗がある方がいらっしやいまして。ただ、今回はかなり若い方がいらっしやいました。学生さんがいらっしやったということと、40代、50代の方の参加もありました。女性はかなり幅広い年齢層だったと思えます。

竹内委員 男女比率は半々くらいですか。

渡辺社会教育主事 そうですね。

竹内委員 女性の出席が多いという講座がいつも目に付いたのですが、半々の出席ですか。そうしたら、男性を引っ張り出すためにも、このような講座をもっと実施してほしいですね。もう一つのこの市民講座は中身が難しいので参加者を集めるのに苦労されたのではないかと思いますが、この講座については、企画実行委員の方達の参加が多かったのでしょうか。

渡辺社会教育主事 そうですね。

竹内委員 ありがとうございます。

大橋委員長 成人大学については、大変多くの方たちが参加されて、非常に喜ばしいのですが、この講座の終了後、どうつなげていくかというようなお考えをお持ちですか。

渡辺社会教育主事 そうですね。

大橋委員長 聞きっぱなしですと、趣味の世界で終わってしまいますので、何か市の活力に活かすとか、公民館の活力でもいいのですが。人と人とのつながりを活かすとか。

渡辺社会教育主事 他の講座ですと、最初からそれも狙って考えるのですが、この講座は人数が多すぎますので。山田先生の方は、以前に作った自主グループがまだ活動されていますけれども。今回は人数が多すぎるので、難しさがあります。意識的に考えてみたいと思えます。

大橋委員長 小金井の場合、江戸時代でしたら、例えば川崎平右衛門とか、玉川上水の新田開発でしたり、大地震もありましたし、そういったことも話にでて

きたのでしょうか。小金井ではどうだったかですが。幕末でしたら、近くが新選組の舞台でしたから。

渡辺社会教育主事 来年度に街づくりの講座はどうかという話も上がってきています。ここに参加されている方は、地域ということに興味を持っている方も多いようですので、お声かけしてみて、参加された方にアプローチしていく方法もあるのではないかと思います。

君塚委員 篤姫ブームということで、たくさん参加者がお見えになっているのだと思うのですが、大石先生は私もお世話になっていた先輩で、同じゼミで一緒にいた方なのですが、先生のご専門は享保改革、経済政策なのです。ですから、新田開発政策の問題についても非常にお詳しくて、多摩地域の自治体史もいくつか編纂されています。先程委員長がおっしゃったような地域史につなげる視点の話も十分できる方です。是非とも大石先生に引き続きお願いして、仕事を押し付けるような形になってしまうのですが、新選組の話も含めて地域史的な展開の中で、学習活動を続けていただければ、サークル化ということも十分可能かと思えますし、江戸地回り野菜の話もかなりおできになるので、先程の江戸野菜の話に絡めて、地域の視点を大きな政治の流れに結びつけるような活動が展開できればよろしいのではないかと思います。そういうことで、そういう情報を提供していただければ、また新しい展開が出来るのではないかと思います。

大橋委員長 新田開発に関して、小金井の桜、栗については、川崎平右衛門という非常に立派な方がここに実際におられて、府中の出身ですが、実際は小金井公園の南側に陣屋を持っていて、そこでいろいろ行っていたのです。是非、街の活性化のためにも、この方を取り上げて、市民の方々が誇りに思うくらいの立派な方がいらっしゃったのですから。この方のことについて質問すると、殆どの市民の方が知らないのですよね。

熊谷委員 僕は初めて聞きました。小金井小次郎しか知りませんでした。

大橋委員長 川崎平右衛門が桜を植えたのです。玉川上水を拡張するとき、もともと松林だったのを桜に変えて、街の活性化と観光資源にしたのです。それで江戸から観光に大勢来るようになったのです。栗の方は、はけの上の方は殆ど水がなくて不毛の地だったのですが、栗を植えて飢饉を救った。その後、美濃の方に行って、治水事業に成功して、今世界遺産になっている石見銀山の銀山奉行になって、最終的には江戸幕府の勘定奉行、今でいう大蔵大臣にまでなられた。武士ではない農民がここまで出世したのは非常にめずらしい例です。大変立派な方ですが、この方を小金井市民が知らないのは問題ですよね。是非公民館でも取り上げて欲しいと思います。

渡辺社会教育主事 前に「多摩学」をテーマにした時に取り上げたことがあります。

大橋委員長 小金井市文化財センターには、川崎平右衛門の図とか紹介してあります。

長田委員 お墓もありますね。

大橋委員長 お墓ではなく、供養塔ですね。真蔵院に供養塔があります。お墓は府中にあります。東京都の文化財に指定されています。

君塚委員 市誌編纂の中では特別取り上げられていないのですか。論文の中ではよく取り上げられているのですが、地方官僚だから、メジャーではないので

すよね。

大橋委員長 美濃に行くとき川崎神社というのがあります。残念なことに、新田開発にあたって、南と北に陣屋を作り、北側には埼玉県の鶴ヶ島市にあって、それは公園になって、復元したり、非常にきちんとしているのです。南は小金井公園の南側、江戸東京たても園の入り口近くにあったのですが、今はなくなったのです。看板まであり、空き地だったのが今宅地開発されて、何もなくなったのです。史跡として残して欲しかったのです。すぐ近くの小金井公園の中にでも復元してほしいと思います。もう少し文化財を大事にして、街の活性化に活かして欲しいと思います。そういう場面で、公民館が学習活動をして進めていくのも良いことではないかと思います。

竹内委員 今のはいい話ですよ。来年度の公民館の事業の中に是非地域史の観点から取り入れていただければよろしいのではないかと思います。

葛城主査 今、川崎平右衛門の話が出たので、一言申し上げたいのですが、今月20日に、緑分館の団塊の世代対象講座「九里四里うまい十三里」というテーマで川越に行ってきました。帰りがけに、柳沢吉保の江戸時代の新田開発、三芳町の三富新田というところに行ってきました。小金井の新田開発には、個人請け、村請け、寺社請けがあり、関野新田、今の関野町のあたりは関さんが、梶野新田は梶さんが、貫井北町、今の学芸大学のあたりは村請新田で、貫井南町が本村ですから、村で開発したという話があります。特に参加した方から、「川越は派手なところでしたが、地味な美芳町に行ったら良かった。」という感想がありました。

大橋委員長 小金井では長い歴史があるので、公民館でも是非とも取り上げて欲しいと思います。社会教育だと思うのです。

長田委員 小学校の社会科の教材でも川崎平右衛門さんの話は取り上げられています。資料が非常に不足していたりすることもあるので、もし取り上げて、そのような資料が集まりましたら、学校の方にも提供していただけるとありがたいです。

大橋委員長 美濃の方、岐阜県では紙芝居を作ったりして、小学校でも教えているそうです。是非小金井市でもやって欲しいと思います。

大橋委員長 真蔵院に供養塔があります。東小学校の校門の横に御栗林の跡である案内があります。東小学校近辺は一体栗林だったのです。栗を作って、一番上等な栗は将軍吉宗に献上し、残りを周辺の皆さんに分けたという話です。

君塚委員 江戸城の御用栗だったのですよね。

田頭副委員長 関野栗という栗の木があったのだそうですが、品種が弱いということになってしまったそうです。それを復元したいという話がありました。公民館講座で追っていくということも可能かも知れません。

大橋委員長 それも江戸野菜の話にありましたね。

君塚委員 全部つながってきますね。

長田委員 マロンホールの名前はそこからきているのですよね。

中嶋館長 今の点踏まえて、生涯学習課にも確認しまして、皆さんにご配布するような資料がありましたら、ご提供させていただきます。

大橋委員長 他にありませんでしょうか。公民館事業について。市民講座については、時間が足りないくらいいろいろな意見が出ましたね。その点は良かったと思います。虚心坦懐に話ことができました。

田頭副委員長 私も全部は出席できなかったのですが、企画実行委員が殆どであっても、かつて公民館に関わった公民館の方たちとも実際にお顔をあわせる良い機会だったと思います。公民館運営審議会委員や企画実行委員の研修の機会が十分とは言えませんので、お互いに顔を合わせる機会も含めて、継続して、同じような形でなくても実施していただけたらと思いました。記録集が楽しみです。

大橋委員長 他にありませんか。それでは(5) その他をお願いいたします。

(5) その他

ア 次回日程について

中嶋館長 次回日程について、本来11月28日の予定でしたが、28日から市議会の開催と重複する関係で、事前に説明していたかと思いますが、市議会定例会と重複するため、21日に調整させていただきました。学習室A・Bにて行います。以上です。

大橋委員長 報告事項に関して何かありますか。それでは、次の協議事項に入りたいと思います。

2 協議事項

(1) 第2回東京都公民館連絡協議会委員部会研修会について

中嶋館長 第2回東京都公民館連絡協議会委員部会研修会が11月16日(日)午後2時～4時、多摩市立関戸公民館大会議室にて予定されております。「改正社会教育法と公民館～生涯学習とは、社会教育とは～」というテーマで、講師は島田修一さんで開催されます。公民館運営審議会委員から出席者の選出をお願いいたします。なお予算措置はしております。よろしく願いいたします。この日程については、いろいろ事業がたてこんでおりまして、館長及び公民館関係者はこちらの視聴覚室で市制50周年事業に従事しなければなりませんので、出席できません。他の事業も多数ある関係で、なかなかお辛いところかと思いますが。

田頭副委員長 本来なら関わっておりましたので、出席したいところなのですが、環境フォーラムがありまして、担当になっておりますので、申し訳ございませんが、欠席させていただきます。

大橋委員長 どなたかご出席されませんか。予算枠はあるそうです。

内古閑委員 14日、15日、16日で三宅島に出かけていますので。

大橋委員長 いかがですか。

長田委員 場所はどこですか。

中嶋館長 多摩市関戸公民館です。京王線聖蹟桜ヶ丘駅から歩いて2分のところにあります。

長田委員 16日でしたら出席します。何時からですか。

田頭副委員長 2時からです。

中嶋館長 それでは長田委員がご出席ということで、よろしいでしょうか。
大橋委員長 よろしく願いいたします。
大橋委員長 協議事項でお話ししたいことは他にありませんでしょうか。
中嶋館長 事務局からはありません。
大橋委員長 東京都公民館研究大会の企画委員会は着々と準備をすすめております。松本事業係長、渡辺社会教育主事と私が毎回出席しております。まだ、参加人数、部会ごとの会場等が決まっておりませんので、渡辺社会教育主事から次回ご報告していただきます。大丈夫ですか。間に合いますでしょうか。
中嶋館長 次回の審議会は11月21日を予定しておりますので、12月14日開催の研究大会より前ですので、ちょうど間に合います。
渡辺社会教育主事 次回の審議会より前に課題別人数や会場等の連絡が来るはずですので、大丈夫かと思えます。
大橋委員長 それではよろしく願いします。
中嶋館長 次回の審議会の報告事項に入れておきます。
大橋委員長 それでは、審議事項に入りたいと思います。

3 審議事項

(1) 各館事業の計画について

中嶋館長 各館事業の計画についてですが、既に一覧表を送付しております。各館からその事業の特色等をご説明いたします。本館からお願いします。
松本事業係長 本館では、先程もありました、市制施行50周年記念事業「食を通しての街の活性化」をテーマに11月16日15時から本館視聴覚室にて行います。17時にそれが終わりましたから、場所を移しまして、本館家事実習室にて交流会を行います。講師として、土井利彦氏、酒井文子氏となっておりますが、ファシリテーターとしてご活躍いただくような形をとっております。募集に関しては、定員70名となっておりますが、当日お越し下さいとしておりますので、お声をかけて頂きまして、たくさんの参加を期待したいと思います。あとは、声かけとして、市内の農協や生産者の方たちにもお声をかけ、当日来ていただきたいと思っております。市長にもお声をかけていますが、当日は、役所の入所の面接があるとのことですので、終わり次第ということで、交流会だけでもお顔を出していただきたいと思っております。以上です。
鈴木主査 本町分館です。2件あります。一つは成人学校「どこでも誰でも役立つ音楽療法」です。これは人気がありまして、最近テレビでも話題になっておりますが、音楽によってストレスの解消に役立て、心身を健康にしようということで、11月6日(木)から27日(木)までの4回の講座です。定員20人で、10月16日から募集したのですが、既に定員満員になりました。講師は、小金井市在住の方で、日本だけでなく、アメリカの音楽療法士の資格も持っていらっしゃる師井和子さんです。既に募集はいっぱいになっております。次に男女共同参画講座「江戸のごみ事情～現代のごみ事情」について、11月10日(月)の午後2時から4時まで行います。都

内で、日の出処分場に出すごみが一番多かった日野市で市長から特命事項で役職につき、2年間でベスト3にまで躍進させた実績をお持ちの元日野市のリサイクル推進課長の方をお呼びいたしました。ごみをなくす方法をご伝授いただこうと思っています。小金井市もごみ対策には苦慮しているところですので、ごみ対策課の職員にも講座の案内を課長宛に出しまして、係長含む3名の職員の出席の依頼を受けています。

渡辺主査

貫井南分館です。こちらからは5件です。最初に成人学校「団塊の世代のための安全登山」ということですが、山としては、この近辺の登山を対象としているのですが、最初に登山のための装備ということで、説明を十分に持った上で、参加をしていただく形の講座です。成人学校「歴史と文学散歩 皇居東御苑・浜離宮庭園、麻布、芝、日比谷界限を訪ねて」と「滝めぐり」については、往復はがきによる申し込みとしておりまして、対象としては、団塊の世代を狙っています。子ども体験講座「子ども囲碁大会」については、貫井の老人会そして、近くの子どもたちとの交流が図ればという目的で、今までどおり行いたいと思います。次に「魅惑の国トルコ」は、ヨーロッパとアジアとを結ぶ地域に位置しているトルコの特色、異なる文化圏の影響を受け、どのような文化が育まれたか等について学ぶ講座です。

若藤主査

東分館では、11月から12月にかけて2本の講座を実施する予定です。まず一つ目は、成人学校「男の団塊くらぶ」。名前のとおり団塊世代、退職された50代から60代の男性を対象にした講座です。地域で活動をするにあたり、会社人間が地元に戻って仲間を作って活動することが難しい中で、こういった講座に集まっていたいただいたことをきっかけに地域に入っていたらこうということで、企画しました。11月1日から毎週土曜日で6回の講座で、内容につきましても、全回全て違うものを行う予定で、1回目はそばうち、2回目は歌声喫茶、3回目はウォーキング、4回目はデジタルカメラの活用 5回目は燻製づくり体験 6回目は陶芸体験と、講座の中味というよりは、仲間づくりのきっかけとし、和気藹々と皆さんで楽しめるものをとすることを目的にしています。10月1日から募集を開始いたしまして、はがきで申し込みいただいたのですが、15名集まりまして、講座としては可能な数で、少ない人数の方が仲良くなれるのではないかと思います、こちらも非常に期待しています。これは今回初めての講座なのですが、今後もしできれば、団塊の世代が退職するしばらくの期間、継続してシリーズ化して、なるべく男性の方に講座に来て頂いて、地域社会に溶け込んでいただきたいという思いで、これからも企画していきたいと思っています。次に成人大学講座「いよいよ始まる裁判員制度」ということで、21年の5月から始まるということで新聞、メディアを通して皆さんにも馴染みが出てきたところだと思うのですが、11月5日から12月3日まで毎週水曜日、5回シリーズということで実施します。昨年は「もうすぐ始まる裁判員制度」として実施したのですが、20名の参加でした。今年も40名定員で電話受付をし、現在のところ18名のお申し込みで、少ないのですが、昨年も参加される方は熱心で、欠席率が少なかったので、

今年も新しくお見えになる方だけでなく、去年のリピーターの方が見えても対応できるような新しい内容を盛り込んで、内容濃く実施していきたいと思えます。今日的課題ということで来年の制度スタートに向けて勉強していただければと思えます。以上です。

葛城主査

緑分館は、音楽鑑賞のつどい「クラシックとポップス」としてエバリーという4人組のストリートミュージシャンの方に出演していただきます。エバリーにつきましては、今月12日の月見のつどいにも出演し、非常に人気のあるグループで、NHKクローズアップ現代や各新聞紙上でも取り上げられている方です。定員は通常は100名とっているレクレーション室なのですが、エバリーの方がファンが来るかもしれないとおっしゃるので、80名に制限して設定しました。

大橋委員長

これについては、各館からご質問がありましたか。

田頭副委員長

このところ、保育付きの講座が少ないという印象があったのですが、例年保育付きの講座があったかと思うのですが、現在どのようなことに付けられていて、どのような執行状況かを教えていただきたいのですが。以前は、全体の中で保育付き講座が年間例えば20回予算措置されていて、貫井南分館では需要があるので5分の一では足りず、他の館の使いきれない分を回して融通して執行したということがあったかと思うのですが、今そのようなところがどのように執行されているのかも気になったものですから。

松本事業係長

本館では、これから実施いたします男女共同参画講座で保育予算を措置されていますが、あとは市民がつくる自主講座の方で枠の中ですが、希望を聞いて予算措置をしていく方向です。手元に資料がなくて申し訳ないのですが、全体的にはあまり保育付きがついていない印象はありますが、具体的には資料がないのでお答えできませんが。

田頭服委員長

資料がないとお答えできないと思えますので、次回でも結構なのですが。

中嶋館長

私の方からご説明いたします。国際交流イベント保育士謝礼が本町分館で3時間で2回で2人分、実施状況は本町分館の方からご報告します。男女共同参画事業における保育士謝礼、本館で3時間で6回、3人分、本町分館で3時間で5回、2人分、貫井南分館で3時間で6回、3人分、東分館で3時間で7回、3人分です。市民がつくる自主講座保育士謝礼、本館で3時間で16回、1人分です。大体保育士の謝礼関係は、予算書の上からは以上です。

田頭副委員長

20年度ですね。昨年と同様ですか。

中嶋館長

比較の資料がないので分かりません。

渡辺主査

貫井南分館では、春に実施した男女共同参画講座で、保育士謝礼執行済みです。今度の1月実施でヨガを3回予定していますが、そこには保育士謝礼を予定しています。後1回男女共同参画講座で児童書から見た女性のあり方の講座で保育士謝礼の執行を予定しています。

田頭副委員長

最近の保育の応募状況はどうですか。

渡辺主査

貫井南分館はなかなか集まらないです。

田頭副委員長

少ないですね。何か企画との関係性はありますか。

鈴木主査 本町分館では、先程館長がご説明したように、国際交流イベントと男女共同参画講座で保育士謝礼を予算措置しています。講座の内容によって、保育を必要とする講座、必要としない講座があります。たまたま講師の方がなるべくこの講座については保育が無い方がよしいといわれる場合はつけず、他の講座に回したりします。参加者が講義の内容に集中を必要とする場合に、連れてきた小さいお子さんが気になって部屋を何度も出入りされたりすると講座が成り立たない場合があります。保育を必要とする最初から想定していくか、講座を重視するかというと、講座を重視しています。

田頭副委員長 以前のように子育て中のお母さんを対象とする講座を実施しようという試みは今はないのですね。

鈴木主査 子育て中のお母さんを支援する講座は男女共同参画講座で何回も実施いたしました。その時には保育は必ず付けて実施しました。

田頭副委員長 そうですね。そういう機会がどこかにあれば良いのではないかと思います。

渡辺主査 貫井南児童館に来るお母さんがたは、子どもと一緒にあの場で談話することが目的のようで、お母さん方がリラックスする機会になる講座を企画してお話を持ちかけてはいるのですが。

田頭副委員長 そこらへんがなかなか上手く、お互いの思いが伝わっていない気がします。子育て支援センターのようなどころにありますと、保育付きの講座があったらという声はよく聞くのです。公民館というイメージが、まだ子育て中の地域のことを良くご存知ない世代の方にはハードルが高いのか、せつかく児童館が併設している貫井南分館でも難しいというので、確かに困難さはあるのかもしれませんが、ニーズがあることは聞いているので。

渡辺主査 極力、児童館に来られる方が参加できる講座の企画を進めて生きたいと思います。

田頭副委員長 そうですね。参加者の方に、市民参加制度があつて、準備会があつて、自分たちの企画が講座という形で実現できることを教えていただけると、行動力のある若い方達はたくさんいらっしゃいますので、そこから企画実行委員への道も開けたりする場合もありますし、困難さはあると思いますが、よろしく願いいたします。

渡辺主査 分かりました。

大橋委員長 本町分館の男女共同参画講座「江戸のごみ事情～現代のごみ事情」ですね。その11月10日なのですが、その日にたまたま午前10時から正午まで、萌え木ホールでごみ対策課主催のごみの学習会があります。今後ごみ処理施設をどうするかが非常に大きな問題になっております。それで、ごみ処理施設は焼却方式が良いのかという問題で、現代は技術が非常に進歩しておりまして、ごみ処理の方式にもいろいろな方式があるので、それについての勉強会があります。その第1回目として11月10日に無料で、当日参加もできます。関心のある方がみえるので、それとのからみで、当日この講座のチラシを会場に置いておくのはどうでしょうか。申し込みがないとだめですか。

鈴木主査 人数に制限があります。立っていれば募集定員以上でも部屋に入ることができますが、消防法上の定員がありますので。

大橋委員長 同じ関連のテーマで、関心のある方が見えるので。

鈴木主査 萌え木ホールでの学習会の内容について私は把握していないのですが、テーマが焼却場の関係が主なのですか。

大橋委員長 焼却場の問題ではなく、ごみ処理施設の問題です。今後は焼却場でのよいかという話があります。小金井市は全城市街化されていますので、煙を出して処理をする時代ではないのではないかと思います。今環境問題が世界的な課題になっております。技術が非常に進歩しています。そういったことの勉強会です。

鈴木主査 ごみ対策課の職員には既に連絡済みで、講座の定員枠外で3人参加する形となっております。

大橋委員長 連絡していただければ。

鈴木主査 連絡しました。

大橋委員長 それから東分館の男の団塊講座なのですが、先程お配りしました青いチラシ定年後の地域参加講座「地域で新たな出発」。生涯学習課の主催講座なのですが、日程が東分館と全く同じで、目的も非常に似ているものです。これは、私たちが実際に企画、運営で実施しているのですが、今年で6年目なのです。市内のいろいろなことを紹介したり、皆さんに誘いかけをしています。定年後地域貢献したいという方は非常に多いのです。アンケートをとると、60%の方がそう希望しています。地域参加をしない方にその理由を聞くと、「情報がない。」「参加する機会がない。」とおっしゃいます。そういうことでこのような講座を企画しているのですが、午前中は東分館のこの事業に参加されて、その後こちらにお越しいただけるようご案内いただければと思います。同じ小金井市で同じ目的で、教育委員会の事業ですので、よろしく願いいたします。特に最終日は、市内のいろいろな団体、ボランティアセンターの近江屋さんとかシルバー人材センターの方達あるいは各NPO法人や各市民団体の方にもお集まりいただく。小金井を知るきっかけになるのもよいですね。

若藤主査 日程のバッティングを避けることができなくて申し訳ございません。取り合いのようになってしまうようですが。事前の問い合わせで、毎週出席するのはきつい、条件として厳しいというご意見もお電話でいただいていますので、来年度以降シリーズ化する上では、長いスパンで、2週間に1回とか参加しやすい形を検討するような案も出ています。

大橋委員長 来年も私どもも実施する予定です。内容もこれから検討します。呼びかける対象が同じですので、調整していけたらと思います。別にライバルではなく、同じ教育委員会の中で実施するので、よろしく願いいたします。

竹内委員 せっかく良い事業を企画するのですから、生涯学習課と事前に連絡を取りあっていただいた方がよいかと思います。

中嶋館長 研究したいと思います。

大橋委員長 他にありませんか。無いようですので、次にいきたいと思います。

(2) 平成21年度公民館の施策について

大橋委員長 公民館の基本方針ができました。来年度予算については、10月中に予算要求書を作成しなければならないということなので、再来年度、平成22年度に向けて始めにいろいろ議論していただいて、職員の方にも議論していただいて、その中で今後どのような形にしていくかについて検討していけたらと思っております。まず、基本方針ができましたので、簡単に皆さんのご意見をお話し願えればと思います。よろしいでしょうか。前回の最後にもそのようにお願いしてあったかと思えます。講座のあり方とか、生涯学習課との調整とか、いろいろあるかと思えますが。

田頭副委員長 直接基本方針に関わるというか、それを含めた今後の会議のあり方なのですが、公運審の会議の持ち方の中で、各館の企画実行委員の様子をお聞かせいただく時間があればと思います。実際に公運審の委員と企画実行委員とが同じ場所で何か物事を一緒にするというのはなかなか難しいので、もちろん努力する必要はあると思うのですが。企画実行委員の議事録が資料としてあるとか。難しいですか。

中嶋館長 企画実行委員の会議は通常毎月第一火曜日に実施されております。基本的に公運審の際の報告事項というところがありますので、そこで報告を合わせてすれば。

田頭副委員長 講座の計画や報告はいただいているのですが、それについて企画実行委員会ではどのような意見が出ているのか。公運審よりもっとざっくりばらんなご意見が出ているようなのですが、そういったことを。例えば児童館に呼びかけても難しいといった生のご意見を伺えるのではというそういう意図での提案なのですが。企画実行委員との関係のあり方を検討するという形でどういったことができるかを考えていく中で、職員の方の方が企画実行委員の様子が分かるわけですから、そちらから伝えていただいてもよろしいのではないのでしょうか。委員の皆さんはどうでしょうか。

中嶋館長 検討するという形にしたいかと思えますが。各館にも聞きまして。どうでしょうか。

田頭副委員長 そうですね。

内古閑委員 企画実行委員との意思疎通を図ることが具体化できたらよいかと思えます。お目にかかってお話しすることがなかなかできなかつたとい実感を自分が持っているものですから。気軽に来てくださいとおっしゃっていただいています。今、田頭副委員長がおっしゃった提案も一つの案としてよいのではないかと思います。

大橋委員長 それ以外のことも含めてお願いします。

内古閑委員 私はいつも「横のつながり」と言ってきたのですが、先程のもえぎホールと重複した行事のことにしろ、例えば明日にオブザーバーとして参加する予定になっています社会教育委員の関連の会議も、開かれた何かにしていただけると、皆がいろいろな勉強ができるかと思いましたし、たまたま個人的に情報が入ってきたのですが、そういった情報があれば、横のつながりにも関係していくのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

長田委員 いろいろ言わなければならないことはあるのだと思うのですが、その年度、その年度によってある程度この項目について重点的にやってみようということをはっきりさせて進めていってはどうかと思うのですが。あの基本方針ができたからそれで終わりではなく。

大橋委員長 重点施策をきちんと出すということですか。

中嶋館長 その件について、もう少し具体的にお話をお聞かせいただきたいのですが。

長田委員 どの項目でもいいと思うのですが、今の企画実行委員との話し合いでもいいですし、来年度予算の計画をたてていくことをどのようにやって行くかとか、そういうことについて段階を踏んだ話が出てこないと我々には良く分からないです。重点的に実施していけばよいのではないかと考えていますが、今年度はこれを重点的に実施しますとか、誰が何をするのかということなどがはっきりしていないように思うのですが。

内古閑委員 職員の方が一番両者の意見を把握していらっしゃると思います。せっかく公民館のことを思っている方達の集まりなので、何か出来ないかなと思っています。

竹内委員 私は本日は、一定の考え方が示されるのかと思っていました。館長から一定の考え方が諮問されることになっていましたので。間に合わないで、また1年先に遅れるのかと思うのですが。せっかく基本方針ができたので、それに従ってやっていただければ私はそれでよいと思います。その中で今、長田委員が言われたような具体的な案が示されるべきですよ。それをここで議論をして、手直ししていただくのか、そういう議論をすればよいのかと思っていたのですが。

大橋委員長 館長。

中嶋館長 今、竹内委員がおっしゃたように、7月25日に小金井市公民館基本方針ができました。その中に、重点施策等については、公民館長が提案することになっていきます。今まさに予算の編成時期にきております。第一次経費、二次経費、三次経費については、各々日限が決められております。年内12月末日までには平成21年度予算の全てが決定することになります。そういった流れの中で、本日は委員の方からまずご意見を聞かせていただいて、また、こちらに質問等があればお答えする方向で、予算の中に反映も踏まえて検討していくつもりで実は思っております。前後いたしました。平成21年度予算につきましては、市の大きな方針としましては、行政改革大綱があり、公民館業務の見直しを行って一部非常勤化を図るという踏まえなければならない件、この件については二次経費、義務的経費、人件費になりますので措置をしていきます。また三次経費は投資的、政策的経費、大きな予算がかかるところについても踏まえて措置をしているところ。今、皆さんが話をされているところの事業の関係経費については、一次経費、行政運営上必須の経費で、毎年度継続して支出するもので、3年前から枠予算方式になり、今年度から全庁的に枠予算方式になりました。これにつきましては生涯学習部に10月31日に提出後、最終的には生涯学習部を通じて財政課に提出ということになります。皆さま

んのお手元に、一般会計の歳入歳出事項別明細書をご用意いたしました。これは既に公表されました平成20年度予算のあらましです。これをてがかりにご意見等をいただければと思ひまして、ご用意したところです。当然に公民館業務の見直しを行うことにつきましては、最小の経費で最大の効果を得られるように、スクラップアンドビルドも踏まえて予算の編成をするということは、予算の編成方針の説明会でも明言されているところです。そういった点から、市民サービスの向上、企画実行委員の負担軽減も配慮して、業務が過重にならないよう、また市民協働による対応もしなければならないといった公民館基本方針を踏まえてやっていきたいと思っております。お時間が限られているかと思いますが、ご用意しましたものをもとに皆さんの方からこういった点はというご意見があれば何か出していただければと思ひました。

大橋委員長 枠予算方式というのは従来とどう違うのでしょうか。

中嶋館長 予算の内容というのは、一次、二次、三次と先程説明をしましたとおりでありますが、本来一次というのは財政課の方でこれまではヒヤリング等をしまして、各課の実情を聞いて査定をするという形で反映をされた結果だったのですが、財政課で査定をするのではなく、自分たちで、自主的、自律的に予算の編成をする形になりました。その自由度が増したということです。

大橋委員長 枠というのは。

中嶋館長 枠予算というのは与えられています。それは、例えば今年度につきましては、20年度の予算があります。約1億3千万円、それは同様に21年度も前年同額ということで同じように組み立てます。中には非常に突出してしまう場合がありますので、それについては、生涯学習部全体で調整会を設ける。そして、財政課に生涯学習部としての予算として要求していく形となります。

大橋委員長 公民館は第一次経費予算の枠は。

中嶋館長 前年同額の中でおさえていく。そして、第二次経費は義務的経費、人件費の関係、当然非常勤嘱託職員絡みですので、これも市の方針に従って措置をしています。第三次経費については、投資的、政策的経費ですので、建物が古くなって大規模改修をしなければならないといった経費は、通常の一次予算の枠は超えておりますので、それも三次でやらざるを得ないので、当然三次で要求をしております。第一次経費が、通常の事業の内容について個々に直接的に関係する部分です。

大橋委員長 例えば公民館は1億円というふうに枠が示されるのですね。

中嶋館長 部単位の中で各課はこれだけという考えがあつて、前年度同額の中でおさえていくという形です。自主的に予算編成をすることができるということです。

大橋委員長 平成21年度の一次枠の予算というのはいくらなのですか。

中嶋館長 前年度に貫井北町地域センター分経費があつたものが減っていますから。だいたいそれを減らした金額に近い形にという形になります。

竹内委員 今日、これが配られた意味は、だいたいこれと同じに組み立てをしなけ

ればならないという意味ですか。

中嶋館長
君塚委員

これと近い経費です。

今日は3人欠席されていることと、今日配られた予算の資料は読まなければならない。予算表については、行政内部の資料ですから、説明も一つ一つ必要かと思えます。これを基本方針、施策の議論につなげていくためには、やはり次回に、これを読んでくることを踏まえて、それぞれが論点を整理して、議論を進めた方が結果としては効率的かと思えますが、いかがでしょうか。今日これを済ませるわけにはいかないかと思えます。

竹内委員
君塚委員

そうですね。今日はもう時間もないですし。

欠席されている方もいらっしやいますし。

大橋委員長

平成21年度予算については、大枠は崩せないということですので、多少は調整できるかもしれませんが。

中嶋館長

現実問題として、今の一次の予算につきましては、次回11月21日の公運審の時期には提出完了済みということになります。

大橋委員長

実質的には平成22年度から基本方針にのっとった形になると思います。次回から始めれば時間的にも余裕がある。来年の予算編成時期までには十分議論が出来ると思います。

渡辺社会教育主事

今の委員長の話のとおり、全面的に基本方針に沿った講座のあり方というのは次の年度になってしまうのですが、ただ、現段階での中途の議論ですが、すぐできること、基本方針の中でかなり問題として指摘されていることについては、できることはないかという話し合いは、職員で行いました。今まとまってないので、正式なご報告ということでもないのですが、いくつか出ておりました。例えば団塊の世代対象の講座は再三指摘されているので、今年も東分館で実施しましたが、今後も継続して重点に繋がる形でやっていきたいとか、本館の方では街づくりといった漠然とした形でおさえおいて、そのやり方が市民協働やNPO法人との協働という話も出て来ています。そこで指摘されたことを踏まえてどういう形で実施が可能か、試験的にやってみてはどうかという案も出ています。予算を伴うかどうかは別なのですが、月刊こうみんかんに市民編集委員が加わってはどうかという提案については、きちんとした枠組みは無理なので、準備会的に募集をしてなど、できることを2、3、行いながら次年度につなげるのはどうかという議論をしている段階なので、正式に館長からという話は難しいのですが、中間報告という形ですが。

大橋委員長

基本方針では、地域との連携をうたっています。先ほどの同じ教育委員会の中でも連携することもできますし、町会やごみ対策課やNPO法人との連携もできるわけです。そうすれば、経費だって少なくてすむことも考えられるのです。公民館に対して、市民の方から言われていることで、公民館が今何をやっているか分からない、そういう意味で、インターネットを通じての情報発信ですね。広報、紙の媒体によるもの、そういったこともやっていかななくてはならない。企画実行委員、公民館運営審議会委員、渡辺さんが中心になってまとめていかれてはどうでしょうか。まずとりあえず集まって話し合いをとるところから始めていけばよいかと思いま

す。先程館長とのお話の中で提案したのは、公民館ではこういう事業を行っていますというPRを団体が自ら提案をする機会を与えるなど、それを、講師料なしの、公民館主催の団体の講座をしてはどうでしょうか。例えば絵の会が、絵を並べてそういうことがやれば、気楽に選択できて、参加できるのではないかと、いろいろな講座のやり方、講座だけでなく、公民館主催のやり方ですね。その一環で、科学の祭典が一つの提案です。公民館だけでなく他の場所でやってもよいのではないかと思います。いろいろな可能性がありますので、まずはざっくりと話し合いを始めたらよろしいのではないかと思います。では、次回は皆さんこれを読んできていただいて、ご意見をお話していただければと思います。

中嶋館長 21年度予算については、日程が決まっております。10月末日には予算編成、公民館としては粛々と予算編成をすすめていきたいと思っております。

大橋委員長 それでは第12回公民館運営審議会を終了します。ありがとうございました。

中嶋館長 どうもありがとうございました。